

「いばらき食育推進大会」に参加しました

1月17日（金）水戸市千波町の県民文化センターにおいて、茨城県などが主催する「いばらき食育推進大会」が開催され、栄養士など1500名が、今後の今後の食育の実践方法のあり方を探りました。消費者団体や生協組合員も多数参加しました。

橋本知事は「食生活は健康の基本。生活改善のため、食育推進に今後ともご尽力いただきたい。地産地消も広めてほしい」とあいさつ。米飯給食献立コンテストの上位者らを表彰した。

教育、農業生産、保健福祉各分野の3人が「周知から実践へーバランスの良い食事の在り方」をテーマに意見交換したほか、女子栄養大学の武見ゆかり教授が「地域における実効性のある食育の推進を目指して」と題し講演を行いました。



【会場のようす】



【橋本県知事ロービーでの展示視察】

「いばらきオーガニックフェスタ」に参加しました

1月22日（水）小美玉市部室の四季の里「みの一れ」において、茨城県などが主催する「いばらきオーガニックフェスタ」が開催され、生産者や消費者団体など350名が、有機栽培など、化学肥料や農薬に頼り過ぎず、環境に配慮した農業の在り方などを探りました。

生産者と消費者によるパネルディスカッションでは「つくる人・食べる人をつなぐ」をテーマに行われ龍ヶ崎で農場を経営する横田修一さんをコーディネーターに9人が参加しました。消費者からは「こだわりやおいしさをもっと発信すべき」、生産者は「買ってもらえる努力が必要で、そのためにも良いものを作ることが大切」などの意見が出された。横田さんは「つくる人と食べる人がつながることが大事。手を携えていければ有機農業が広がる」と議論をまとめた。

会場では食や農の講演をはじめ、農産物の直売、有機野菜を使った料理の提供なども行われた。



【開会あいさつ】



【展示ブースの様子】

「茨城県生活者懇談会」に参加しました

1月24日（金）水戸市宮町のホテルレイクビューにおいて、日本チェーンストア協会が主催する「茨城県生活者懇談会」が開催され、茨城県消費者団体連絡会から11団体22名、行政から茨城県生活文化課より2名、チェーンストア協会より24名が参加しました。

この懇談会の主旨は、各地で消費生活について懇談する機会を通じて生活者、事業者、行政の相互理解を深め、役割を確認しつつ、協調して諸課題の解決に向けてそれぞれの立場で努力するというものです。前半はチェーンストア協会のさまざまな取り組みについて報告がありました。後半は、事前アンケートで環境（食品ロス）・社会貢献（茨城をたべよう運動）・安心安全（食品表示、食材偽装）・品揃え、サービス（高齢化社会の問題）などを提起し、回答をいただく形式で懇談が進められました。



【県消連藤原副会長】



【会場のようす】